

ダンススポーツ

# 春 夏 秋 冬 No.79

東京都ダンススポーツ連盟広報誌

## 第21回 都道府県対抗戦



東京都チーム 優勝!

## 2014年(平成26年) 年頭あいさつ

東京都ダンススポーツ連盟 会長 居樹 保朗



あけましておめでとうございます。  
会員の皆様におかれましては、  
輝かしい新春をお迎えのこととお  
慶び申し上げます。

平素より、東京都ダンススポーツ  
連盟の運営並びに活動に対し、  
ご理解とご協力を賜り、心から御  
礼申し上げます

昨年10月16日に台風26号により甚大な被害を受けた伊豆大島、そして、今も尚、東日本被災地において復興に取り組んでおられる方々に、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早く穏やかな生活を取り戻せるよう心より祈念いたします。

我々東京都ダンススポーツ連盟一同は被災地の復興に少しでもお役にたてるよう努めてまいります。

新年を迎えるにあたり、我々東京都ダンススポーツ連盟は、これからのダンススポーツを取り巻く状況の変化を的確にとらえ、これまでの均衡ある発展から個性あるダンススポーツの確立に向け、これまで以上に連盟の力量が試される時代と捉えております。

今後、ダンススポーツが発展していくためには、役員と会員皆様方が一丸となり、それぞれの役割分担を踏まえながらの協働が益々、重要になります。

昨年を振り返りますと、ここ東京で54年ぶりに国民体育大会「スポーツ祭東京2013」が催され、それに伴い、当連盟も『デモンストレーション競技』の開催、また、『三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権』、『都道府県対抗全国ダンススポーツ大会in東京』を開催致しました。

他にも、日本ダンススポーツ連盟主催のイベントとして国技館を借切った『第1回ダンスコレクションin国技館』など、ダンスに馴染みのない方々にも楽しんで頂ける、遊び心一杯の楽しいイベントを繰り広げ、大変賑やかな一年でした。

そうした中、日本のアマチュアダンス界の礎を築かれた東京都ダンススポーツ連盟名誉会長の山口繁雄氏が10月28日に93歳でご逝去されたと言う悲しい出来事が有りました。

ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

人が集まって力を合わせて何かをすることは、「一つの出会い」「人との繋がり」を生み、また、目標を共有し何かを成し得たことは次のステップとなり、それは組織の力となり、その力が連盟の連帯感の形成・チーム力・総合力になり、ダンススポーツの魅力の向上、未来へと繋ぐ大きな原動力となることを改めて実感できた一年となりました。

結びに、新しいこの一年、2014年が皆様、そしてダンススポーツにとりまして、素晴らしい年となりますよう心からご祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



# 内閣総理大臣賞争奪

## 第21回都道府県対抗全国ダンススポーツ大会

10月6日(日) 東京体育館

in 東京

東京都Aチーム

川島俊明・道子

第21回都道府県対抗全国ダンススポーツ大会が、東京体育館で開催されました。私たちも昨年に引き続きスタンダード壮年Aで出場させて頂きました。開催地が東京ということで『優勝』の二文字がかなり重く感じられましたが、プレッシャーに負けないように試合前日まで出場種目に焦点を絞り積極的に練習し当日に臨みました。試合当日は、全国33都道府県からの参加で昨年以上に選手・応援団の数も多く、入場行進の時からかなりの熱気に包まれていました。東京都チームも昨年4連覇を阻まれた雪辱を遂げるために、一丸となって戦いました。結果はなんと団体総合優勝。キャプテンの岩瀬さんが優勝旗を手にして堂々と言進された時は、心の底から嬉しさが込み上げると同時にほっと肩の荷が下りました。11月には、関東甲信越ブロック都県対抗戦も開催されますので、この流れを持続させて連覇できることを祈っています。

東京都Bチーム

今井正幸・由香

東京都Bチームを結成して臨んだ今大会で、チーム一丸となり良い成績を納めることが出来、大変嬉しく思います。

個人(カップル)競技になりがちなダンスですが、団体として応援しあい戦う楽しさを実感すると、各カップルが実力以上のダンスを踊れた様に思えます。キンタロー。カップルをサンバ種目に迎えたこともチームが盛り上がり、結束を強くしました。機会があれば是非また団体戦の挑戦をしたいと思ひます。

シニアⅢスタンダード 優勝

岡田明義・祐子 (長野県)



昨年復活したグランドシニアがWDSFの公式カテゴリーであるシニアⅢに呼称変更されてから初めての競技会がJDSFと東京都連盟のご尽力により実現しました。

この記念すべき大会での優勝は、私たちにとって今までのダンス人生の中で最も嬉しいものとなりました。互いに自分のバランスに立てる様になって来た事が結果に結びついたと思っています。

来年の6月にスペインのマドリッドで開催予定のWDSF世界選手権シニアⅢ(男女のどちらかが55才以上でもう一人が45才以上)の表彰台を目指して、質の高い練習を積み重ねてゆきたいと思っています。

貴連盟が日本の牽引者として益々発展されます事を祈念申し上げます。

誠にありがとうございました。

シニアⅢラテン 優勝

久我孝正・みき子 (宮城県)



検舞台にチャレンジャーとして臨み、シニアⅢ選手権で優勝できた事、大変嬉しく光栄に思ひます。長く親子4人でダンス人生を歩み、今では兄妹共ターンプロし息子が私達の先生です!

これからもダンスを生涯スポーツとして楽しみながら、地域活性化と技術向上に努力してまいりたいと思ひます。

素晴らしい今大会により、全国の選手皆様方と交流し同じフロアで踊れたことに感謝いたします。ありがとうございました。



### かがやいてますね

中島 麗三・高谷香織 組(港区)

ダンスを始めて1年が経ちました。アメリカのダンス番組でダンスを見て、そのカッコいい踊りに魅せられ、以前から興味はありました。ただ、未知の世界で何から始めていいかもわからず、きっかけも無くなかなか踏み出せずにいました。

そんな時、スポーツクラブのプログラムに社交ダンスがあることを知り、思い切って飛び込んでみました。当然最初は何もわからず、見よう見まねでステップだけを覚える日々が続きました。そうしているうちに段々と、もっと色々なステップを覚えたい、基本からしっかりと習いたい、と思うようになり、無理やり誘った今のパートナーと一緒に教室にも通い始めました。それからは、四六時中ダンスの事しか頭に無いくらい、パートナーとともに熱を上げて1年間練習してきました。

まだ全く基本も出来ていない、見せられるような踊りではありませんが、ダンススポーツに寄せる思いや情熱が、自分たちの同世代や、より若い世代に良いかたちで伝染して、よりメジャーな競技に発展していったらいいと思っています。

まだ短期間ではありますが、一生懸命ついてきてくれたパートナーにも感謝しています。







とになりました。

5周年、10周年、25周年、そして30周年と、それぞれの節目の年には記念式典および祝賀会を開き、先達の功績に感謝し、それまでの軌跡を振り返りながら、ダンススポーツを楽しんでまいりました。

こうした32年の歴史を経て、私たちの連盟も大きくダンススポーツを発展させてきたものと自負しています。その証に、江戸川区は都民体育大会や都民生涯スポーツ大会にて常に上位にランクインする常連チームの一つとなりました。また、このことは、ダンスを楽しむ区民の皆さんにとっても大きな励みとなっています。

私たち連盟は、例年、講習会・祝賀会・区民大会・競技大会などとおして、区民の皆さんがダンスに触れながら、お互いに交流し、それぞれの健康増進に寄与する

江戸川区ダンススポーツ連盟は、昭和56年の江戸川区社交ダンス協会（木本多聞会長、宇田川幸義理事長）としての設立以来、江戸川区スポーツダンス協会（平成7年から17年まで）としての10年を経て、今年で32年目を迎えるこ

よう努めてまいりました。

これからも変わらず、佐藤ツサ子理事長とともに、区民、都民の皆さんにダンスの素晴らしさを伝え、ダンスを楽しむ皆さんの健康増進と交流に役立つよう、邁進してまいりたいと思います。各地域の連盟の皆さんとともに手を携えて、ダンススポーツの発展に貢献してまいります。今後とも、江戸川区ダンススポーツ連盟をどうぞよろしくお願いいたします。



江戸川区ダンススポーツ連盟  
会長 木村 長人



のサッカー「FC町田ゼルビア」やフットサルなどの活発な活動が注目されております。

一方当連盟では年間五つの事業の他、初心者講習会・会報誌「STEP」の発行・親睦旅行・町田市社会福祉協議会への寄付など連盟の成すべき事業として一つ一つ推進しております。

さて、年々全国的に会員の減少傾向にある昨今、当連盟でも同様頭の痛いところですが、毎年会員増強の一策として実施している初心者講習も年々参加者が減少傾向にあります。初心者講習が会員の増強に繋がらないとすれば、あとは連盟への未加入サークルやリタイア組を対象に市の広報などを通して誰でも参加できる無料体験講習会など開催するのも一策と考えます。連盟では全ての行事にもこの運動をリンクさせ地道に運動を継続する必要があります。この状況を踏まえ当連盟の活動状況を申し上げますと、会員数600名、選手登録215名、サーク

町田市は多摩地区南部に位置し、人口43万のベッドタウンで交通機関といえば東西南北への移動も比較的容易な利便性に恵まれた街と言えると思います。特色は福祉・文化・芸術それにスポーツ振興を奨励しており、最近ではJ2

ル数24（内ジュニアサークル1）の体制で月例常務理事会（毎月第4火曜日開催）、月例理事会（毎月第1月曜日開催）を経て年間事業の立案と実行を効果的に推進するため常務理事18名、派遣理事24名で活動しております。

平成23年9月連盟も創立30周年を迎え一つの節目として『創立30周年記念祝賀会』を町田市内のホテル「ザ・エルシー町田」で208名のご出席をいただき盛大に挙行することができました。当日ご出席いただいた皆様に紙面を借りて厚く御礼申し上げます。



町田市ダンススポーツ連盟  
副理事長 永瀬 佳治





# スポーツ祭 東京2013 第68回 国民体育大会 デモンストラーションスポーツ行事「ダンススポーツ」



実行委員長 稲田 義四千 10月6日(日) 立川市柴崎市民体育館

今大会は「とどけようスポーツの力を東北へ」のサブタイトルのもと、10月6日(日)立川市柴崎市民体育館で開催されました。大会当日はもう一つの大きな大会、第21回都道府県対抗「全国ダンススポーツ大会in東京」が東京体育館で開催され、また前日の第33回三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権とともに都連盟役員も二分されて、それぞれの大会の運営に当たりました。

54年振りの国体「多摩国体」、団体戦は東京都内各区市より44チームが、個人戦はD級戦・C級戦、グランド・ミドルの各B級戦に250組がエントリー。メイン競技の団体戦は入場行進、開会宣言、国歌斉唱、大会会長挨拶、そして「若い力」の斉唱、ラジオ体操を全員で行い、退

場後、競技に入り予選、リダンス、2次予選、準決勝へ、決勝は8組で行い、個人戦決勝1位から6位まではクリスタル楯と国体正式競技と同じ「ゆり」と賞状、団体戦は1位から3位まで金・銀・銅の各メダル、決勝8チームには国体賞状がそれぞれ授与されました。



C級戦ラテン優勝  
一文字 孝一・  
本堂 ふさ(東京都)

C級戦スタンダード優勝  
石出 聡・功美(足立区)

## 決勝8チーム

- 優勝 江東区
- 準決勝 江戸川区エドリバース
- 3位 羽村市
- 4位 八王子市
- 5位 立川市こぶしの花A
- 6位 あきる野コスモス
- 7位 新宿区
- 8位 小平市ブルーベリース



## 団体戦優勝：江東区 江東鶴亀ズ監督 津野 光昭

当日団体戦背番号が100番、これが大当たりの始まり。「100番江東、ツルカメ鶴亀江東、イケイケ江東100番江東、ツルカメ鶴亀江東」応援絶好調、選手も平常心を忘れるほどに大奮闘。準決、決勝、表彰式1位100番江東鶴亀ズのコール。やったアー!!「もちろん私達が鶴よね」とは試合前の女性軍の言。「俺達は亀?」「まアアお目出度いところで事故なく頑張ろうよ」夢のような優勝、バンザイ!!

# 第15回 関東甲信越ブロック選手権 都県対抗戦 東京都3連覇!

東京都チーム 山田 恭平

11月17日(日) 埼玉県蓮田市体育館



11月17日、ダンススポーツ関東甲信越大会の団体戦に、東京都代表として出場させて頂きました。

我々は、リーダー、パートナー共に早稲田大学競技ダンス部の出身であり、団体戦は学連の試合以来2年ぶりでした。

試合前はチームの足を引っ張ってはいけないという思いから、団体戦特有のプレッシャーを感じていました。しかし、いざ試合が始まると、東京都チームの大きな声援に乗せられて、普段の個人戦よりもノビノビと踊ることができました。結果として、東京都は3連覇という偉業を達成することができ、微力ながらもこうした記録に貢献することができ、非常に光栄に思っております。

また、世代の異なる選手と交流を深めることができ、大変有意義な経験をさせて頂きました。

今後またこのような機会があれば、ぜひ参加させて頂きたいと思っております。



# ダンスコレクション in 国技館 2013

運営スタッフ 今泉 清隆

10月26日(土)

天気は催事に一番向かない雨です。それに関わらず開場前には多くの観客が整列しました。

会場では前日のリハーサルに続き、当日午前中もリハーサル。そして、観客が会場に入場。

ワークショップの「皆でダンスを体験しよう」では、エアロビック、ジャズダンス、サルサ、ヒップホップ、ジャイブの各種目に、フロアー全体が踊ることが大変なほどの熱気になり、各ダンスの素晴らしさを確認することが出来ました。

ダンスタイムはプロの先生方が無償でアテンダントをして下さり、楽しい時間を参加者は過ごす事が出来たと思っております。ステージは、各ジャンルのトップクラスの踊りが、次から次に、息つく暇が無いという言葉がびったりの拍手喝采のステージ展開でした。「来年も開催して欲しい」と言う方が多く、画期的なダンスコレクションでした。



石原・伊藤組



## 訃報

東京都ダンススポーツ連盟名誉会長の山口繁雄殿(93歳)が平成25年10月28日ご逝去されました。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

氏は、32歳からダンスを始め、JDSFの前身組織日本アマチュアダンス協会(JADA)を立ち上げ、JADA会長時代には「ダンスを国体に、そしてオリンピックに」と、ダンスの発展普及に尽力、2010年(財)日本体育協会より、「日本スポーツグランプリ」を授与されました。

発行 平成26年1月1日  
 発行人 今泉 清隆 (理事長)  
 編集人 鈴木 勝彦 (広報部長)  
 企画 広報部  
 発行所 東京都ダンススポーツ連盟  
 住所 〒161-0031  
 東京都新宿区西落合1-28-14 榊原ビル1F  
 TEL 03(6908)3412 FAX 03(6908)3420  
<http://www.jdsf.or.jp/tokyo/>  
 (春夏秋冬掲載中)